

(概要版)

授業に生かす好ましい人間関係の育成 — 「聴く」「話す」に視点をおいた「ふれあいプログラム」と 「振り返りカード」を通して —

長期研修員 新井 信男

国(社会で必要とされる能力)

OECD:キーコンピテンシー
「多様な社会グループにおける**人間関係形成能力**
(自己と他者との相互関係)」

◎他人と円滑に人間関係を構築する能力・コミュニケーション能力としての『生きる力』が必要

群馬県教育委員会(学校教育の指針)

指導の重点

- 特別活動
「よりよい生活や**人間関係を形成する力の育成**」
- 生徒指導
「よりよい**人間関係を築く力の育成**」

課題

人間関係づくり

学校の現状

- 人間関係の希薄化
・問題行動
- 対人関係をうまくつけない
・トラブル
- 自己肯定感が低い
・居心地の悪さ ・授業への意欲の低下

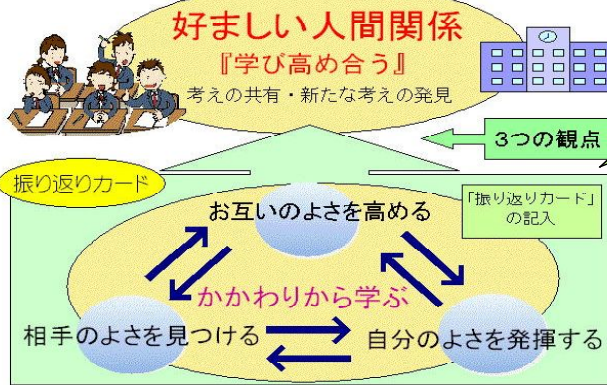
全国学力・学習状況調査の分析から

「学校で友達に会うのは楽しいと思う」
生徒ほど教科での正答率が高い

友達との人間関係→学習の意欲・態度



研究のねらい



「振り返りカード」

「人とのかかわりから学ぶ」
意識化・日常化

「ふれあいプログラム」

「聴く」「話す」に視点をおいた活動の計画・実践

ふれあいプログラム

人とのかかわりから学ぶための人間関係づくり
「聴く」「話す」に視点をおいた活動

ステップ4 知識・考え方を伝え学び合う→かかわりから学ぶ・教科での実践

ステップ3 気持ちを伝え合う→共感的態度の育成、
かかわりから学ぶ

ステップ2 情報を聴き合う→情報活用・情報編集能力の育成、
対話的コミュニケーションの育成

ステップ1 よさを認め伝え合う→自己理解・他者理解

アセスメント

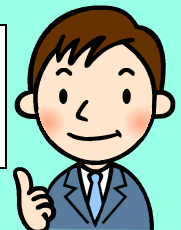
実態把握・課題分析

生徒 ↔ 生徒

人間関係の希薄化

質問紙・日常観察

「聴く」「話す」に
視点をおきます



学び高め合える「好ましい人間関係」には
「聴き合うかかわり」
「対話的コミュニケーション」
が成立していることが必要です

「聴く」「話す」に視点をおいた 「ふれあいプログラム」

ねらい

「事実」「気持ち」「考え・意見」と「聴く」「話す」のかかわり方をかえていき、『コミュニケーション能力の向上』と『かかわりから学ぶ』ことを目指します。



ステップ1～3を授業に生かすために

ステップ1 → 考えを認め合う
ステップ2 → 考えの交流・共有
ステップ3 → それぞれの学びとする

教師 → 課題・発問の工夫
学習形態の工夫
考えの交流場面の設定

ステップ4

:教科授業(数学)
1次方程式の利用
「誕生日は何日！」

問題を読み取る

考え・意見

考えを伝える

導入: 「二者択一」で自分の考えを伝え合います。
内容: 「学習」をテーマに「みんなでカウンセリング」

ステップ3

:学級活動3
「みんなで
カウンセリング」

考えを聴く

気持ち

考えを伝える

導入: ロールプレイにより「傾聴」について学びます。
内容: 班対抗! 協力して課題を解決

ステップ2

:学級活動2
「教室はどこだ」

情報を聴く

情報(事実)

情報を伝える

導入: バーステーライン 「ジョハリの窓」
内容: よさを見つけよう!

ステップ1

:学級活動1
「自分再発見
(ジョハリの窓)」

「聴く」

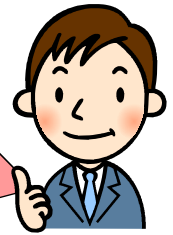
よさを認め伝え合う

「話す」

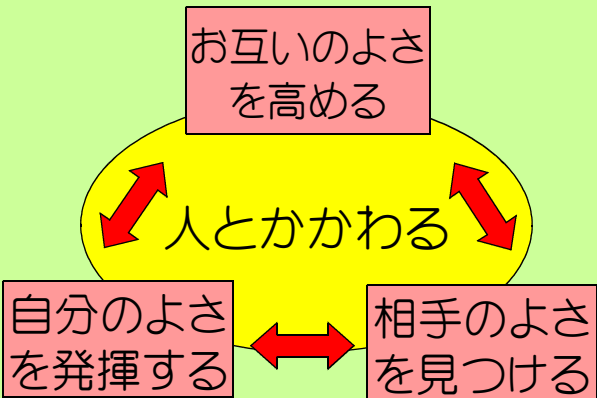
		自分	
		知っている	知らない
知っている	友達	◎自分も友達も知っている やさしい やさしい 自他共に認める あなたの長所です!	◎自分は知らないが、友達は知っている まじめな おちついた 必ず自分のよいところに なります! 正直 親切
	自分	赤い付せん紙 ①	②
知らない	友達	◎自分は知っているが、友達は知らない 努力家 明るい 自分を表現してみよう!	◎自分も知らないし、友達も知らない 未知の世界です あなたにはまだまだ気付いていない面があります
	自分	③	④

かかわりから学ぶ意識化・日常化 「振り返りカード」

ねらい
自分のよさを表現したり、友達のよさを見つけ認めることから、「人とのかかわりから学ぶ」ことの意識化・日常化を図ります。
カードへの記入から、学び高め合う「好ましい人間関係」の育成を目指します。



振り返りの3観点



人とのかかわりから学ぶ

よさを発揮する→見つける→高め合う
3つの観点が影響し合います

★ 振り返りカード

学級活動で「自分再発見」の授業で出された「自分のよいところ」と「よいところを学校生活に活かすこと」を思い出しましたか？ また、そのよさをどのように生かしますか？

目標

授業中1回は手を挙げよう・発言しよう

〇〇さんが
数学の解き
方を説明し
てくれました

日付	友達のよさを見つける	自分のよさを発揮する	お互いのよさを高める
10/ ()	授業中・その他()	授業中・その他()	授業中・その他()
	感想		先生から

みんなが手を
挙げているの
で、自分も挙
げられました

授業に生かす

体育の試走でタイムがよくなりました

「ふれあいプログラム」ステップ1～4の活動、「振り返りカード」の記入により築いた人間関係を授業に生かします。教師は、問題を深く読み取らせるための問題・発問の工夫、共感的な態度で友達の意見や考えを聴き合う場面の設定などを行っていきます。

「人のふり見て 我がふり直せ」 人から学ぼう！

みなさんの周りには、いろいろな人がいます。今までの授業で行ったことを思い出してください。人には、それぞれよいところがたくさんあります。また、友達と協力すると、一人ではできないことが可能になります。みんなのよいところを認め、そしてよいところはみんなで共有しましょう。

「人のふり見て 我がふり直せ」

(意味) 「他人の言動の善悪を見て、自分の言動を改めよ」

こんな時どうする？

☆人のよい所を見て、

- 嫉妬する、ケチをつける
- 自分も見習う、自分もやってみよう、尊敬する



☆人の悪い所を見て、

- 非難する、バカにする
- 自分の言動を振り返る、自分はそうならないように気をつける

人の行いを参考にして、自分をより成長させることができればいいのではないのでしょうか。自分をよりよく成長させたいという気持ち(向上心)をもっていれば、人との関わりがたくさんのことが学べるでしょう。

お互いに自分のよさをさらに伸ばせるような、そんなクラスにしていきたいですね。

成果と課題

生徒の変容

生徒の感想

【実践後の生徒の感想】

◎聴き合うかかわり

○あまり口に出さないようなことも書けたし、あまり話さない人と話せたからよかったと思う。人それぞれ違っているところがあっておもしろかった。

◎好ましい人間関係の育成

○友達のよさがとてもわかった。みんなで協力すれば必ず答えが出ることがわかった。この授業を終えて、協力することと仲間の大切さわかった。

○友達のいいところがたくさん見つけられた。いいところを見つけることによってもっと仲良くなれた。

◎学び高め合う

○学校生活の中、少し考えて周りを見れば、いいことがいっぱいあることがわかった。

担任・教科担当の感想

【実践後の担任・各教科担当アンケートより】

◎学習意欲・態度

- 話しをよく聞ける生徒が増えた。
- 挙手・発言が多くなった。
- 今まで手を挙げなかった生徒が手を挙げるようになった。全体的にも積極的に手を挙げている。

◎学級の雰囲気

- 雰囲気がよい。間違えても責められない。

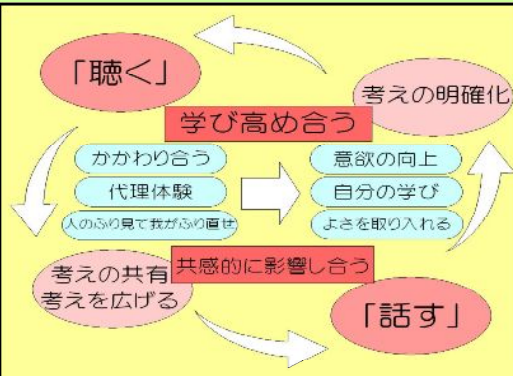
◎学力

- 単語テストの平均点が上がり学習に前向きになった。



成果

生徒は、人とのかかわりから学ぶことを意識し、積極的に友達とかかわろうとする態度が見られるようになりました。その基盤となるのは「聴く」「話す」というスキルですが、基本的な姿勢として、共感的な態度でかかわることがポイントとなります。共感的に影響し合うことにより、お互いに学び高め合うことができました。



課題

共感的な態度
が大切です



- 「授業に生かす」ための人間関係を深めていくためには、さらに生徒から自分の気持ちや考えを引き出すための手だてが必要です。
- 実態と目的に合わせ、実践を重ねていくことが必要です。

☆実態や目的に合わせた他の「ふれあいプログラム」も提言します。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター
担当係:生徒指導相談係

0270-26-9217(直通)